



上村淳之「啼く」1991年 京都府蔵(京都文化博物館管理)

上村淳之米寿記念Ⅱ

上村松園・松篁・淳之 三代展

—鳥たちに魅せられて—

令和3年

5月15日(土) — 7月25日(日)

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM

【休館日】月曜日 【開館時間】10時～17時(入館は16時まで)

【入館料】大人(高校生・大学生を含む)820円/小・中学生410円 *20名以上の団体は1割引 *障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引

【割引入館券】近鉄主要駅にある「駅営業所」にて販売! *学園前駅では販売していません。

販売期間=令和3年5月10日(月)～7月25日(日) 割引入館料金=大人(高校生・大学生を含む)650円/小・中学生320円

【主催】公益財団法人 松伯美術館、読売新聞社 【後援】NHK奈良放送局、読売テレビ

鳥たちに魅せられて

5月15日(土)ー7月25日(日)

日本画家、上村淳之が米寿を迎える事を記念して、淳之作品を中心に、当館所蔵作品と、所蔵先のご厚意により拝借させて頂いた秀作を加え、松園、松篁の作品と共にご覧頂く展覧会を2期に分けて開催いたします。

上村淳之は日本画家である祖母、上村松園、父、上村松篁の身近な薫陶の下に、独自の画業を築き、七十年に及ぶ制作活動に、いまなお熱い情熱を傾けています。全期間を通して、松園、松篁、淳之へと受け継がれてきた日本画の格調高い美の世界をご紹介します。

花鳥画というのは、鳥に己を託し、
花に己の思いを託して始めて成立する。

上村淳之著「鳥たちに魅せられてー鳥と私と花鳥画とー」より

「上村淳之米寿記念II 上村松園・松篁・淳之三代展ー鳥たちに魅せられてー」では、東西の絵画を比較しながら余白の美を追求した淳之の絵画芸術に迫ります。また日々アトリエで実際に鳥達を慈しみ育て、愛情を注いで描く花鳥画からは自然の神秘に触れた軌跡が窺えます。選りすぐった記念の展示を通して、改めて淳之芸術の魅力に触れていただければ幸いです。



上村松園「むしの音」大正末期頃 個人蔵



上村松園「女簾養秋」1941年頃 個人蔵



上村松篁「鶏」1973年 松伯美術館蔵



上村松篁「月明」1979年 松伯美術館蔵



上村淳之「月明」1985年 港南株式会社蔵



上村淳之
「花の水辺I・II」
2007年
松伯美術館蔵



上村淳之「早苗田」1993年 岐阜プラスチック工業術蔵

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 Tel.0742-41-6666
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/shohaku/>

〈交通案内〉近鉄奈良線(学園前駅)北口バスターミナル⑤・⑥番のりばよりバス約5分、(大洲橋(松伯美術館前))下車、大洲橋を渡った右側。
※駐車台数に限りがあるため、できるだけ「電車・バス」でお越しください。

松伯美術館「友の会」会員募集中!

ご入会随時受付中。詳しくはホームページをご覧ください。

喫茶のご案内

旧佐伯邸の内庭にて野点(喫茶)をご利用いただけます。

期間：3月～6月、9月～12月の開館日の土・日・祝日/11時～15時
※猛暑期(7月・8月)と厳冬期(1月・2月)は休業いたします。

次回展覧会 令和3年8月7日(土)～10月24日(日)

下絵と素描に見る上村松園一珠玉の絵画を求めてー

